

北アルプスエリア

大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村
お問い合わせ先 北アルプス地域振興局農地整備課 ☎0261-23-6513

1 わびらぶらぶら 上原温水(上原温水路)

【所 在】大町市
【築 造】昭和30年代
【管理者】大町市土地改良区

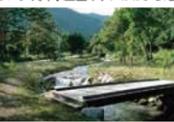
幅広で水深が浅い温水路(幅16～18m、深さ10cm)は「ぬるめ」と呼ばれており、北アルプスを源とする冷たい水と水層の生育に達した温度で上昇させるために造られました。水路延長300mの入り口での水温は15℃、出口では2℃上昇しており、1℃上昇することで米が1俵多く採れるといわれています。四阿や遊歩道も整備されており、子供たちが水遊びを楽しむことができます。



2 こしあわわわ 越荒沢堰

【所 在】長野市
【築 造】鎌倉～南北朝時代
【管理者】大町市土地改良区

生活用水確保のために築造されましたが、後にかんがいで用水として利用されるようになりました。北アルプスを背に流れる自然石を使った水路には、岩魚やカワガニなど清流を好む魚も棲息し、周辺にヒメギョウチョウが舞う豊かな自然環境を創出しています。「土里ネット」おもち地蔵や住民らによりアジサイが植栽され、ホタルが舞い地域の特徴として親しまれています。



3 おおもちしんせき 大町新堰

【所 在】大町市
【築 造】寛政6年(1794年)
【管理者】大町市土地改良区

松本藩による再新田開発(1792年)が行われ、麓川から導水するために、山の鞍部を50mも掘り割る大工事でより大町新堰が誕生しました。防火用水や流雪用水にも使用されています。また、さらに平成24年には東京電力㈱により年間610万kWhを発電する小水力発電所が建設され、一般家庭約1,700世帯分の電力が発電されています。



4 たかむねがわんがんがうすい 高瀬川沿岸用水

【所 在】長野市
【築 造】昭和14年(1939年)
【管理者】高瀬川右岸土地改良区、大町市土地改良区、北安曇郡池田町土地改良区

昭和電工㈱の常盤発電所(大町市)及び広津発電所(池田町)の運転開始により、高瀬川沿岸地域(大町市、池田町、松川村)の農業用水と工業(発電)用水が昭和14年に供用開始されました。従前は、高瀬川の流況に応じて安定せず用水確保が困難で、水争いも多発していましたが、水路が整備されたことにより、農業・工業用水の安定確保が可能となりました。



5 あおにせき 青鬼堰

【所 在】白馬村
【築 造】万延元年(1860年)～文久3年(1863年)
【管理者】青鬼集落

山間地で水利に乏しかった青鬼集落では、江戸時代の先人達が4年の歳月をかけて岩盤をノミで削るなどして3kmにおよぶ山腹水路(青鬼堰)を完成させ、200枚の美しい棚田を開墾しました。地域住民・ボランティアとの共同作業により、青鬼堰の水路清掃等、維持管理が行われています。



6 ひらかひとうしゅうこう 平川頭首工

【所 在】白馬村
【築 造】昭和56年(1981年)
【管理者】長野県白馬村土地改良区

平川には谷が深く水利に乏しい土地でしたが、田原小右衛門・山崎又三郎の熱心な取組により、安政6年(1859年)の土留水路が完成し、約30haの開田が行われたと伝えられ、小谷の墾開の始まりとされています。水の通る大峯林には堰の開通記念碑などの石造物が並んでおり、徒歩での観光コースもなっています。



7 きがしがわ 木流川

【所 在】白馬村
【築 造】江戸時代後期
【管理者】清流用水管理組合・白馬村

江戸時代後期に開墾され、薪や材木を流して運んだことが名前の由来とされています。平地では珍しい高山植物も観察でき、地域の財産として守られています。景観・環境・生態系の保全に配慮した景観環境整備事業による改修が行われ、「木流川と親しむ会」を中心とした保全活動等を通じて、自然の大切さや美しさを学べる場となっています。



8 つちせき 土谷堰

【所 在】小谷村
【築 造】安政2年(1859年)
【管理者】土谷堰水利組合

小谷は谷が深く水利に乏しい土地でしたが、田原小右衛門・山崎又三郎の熱心な取組により、安政6年(1859年)の土留水路が完成し、約30haの開田が行われたと伝えられ、小谷の墾開の始まりとされています。水の通る大峯林には堰の開通記念碑などの石造物が並んでおり、徒歩での観光コースもなっています。



9 よこみせせき 横溝堰

【所 在】大町市
【築 造】江戸時代(1650年頃)
【管理者】高瀬川右岸土地改良区、横溝堰水利組合

1650年頃の新田開発により、乳川本流から分岐して開削された水路です。延長1.6kmの下流に広がる水田14haを潤しています。蒸籠りの土水路の周辺は、草が茂り、石は苔に覆われています。水路の川底に石の表面が赤みを帯びており、用水にわずかに含まれる鉄分が歳月を経て川底の石に付着したもので、この層の長い歴史を物語っています。



10 じゅうたろう たなだ 重太郎の棚田

【所 在】大町市八坂
【築 造】戦国～江戸時代

大町市八坂のほぼ中央に位置し、山と谷が複雑に入り組んだ山地特有の地形に点在している棚田は、周辺の山々や谷間の民家の調和し、山村の原風景である美しい景観を形成しています。地元と都会の人達により、自然や文化を通じて都市と農村の交流の場としても注目され、田植えや収穫などの体験を通じて、農業の魅力と地域文化に触れることができます。



11 あまの たなだ 青鬼の棚田

【所 在】白馬村大字北城
【築 造】江戸時代

重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている青鬼集落は、北アルプスの五竜岳、鹿島槍ヶ岳を一望し、茅葺き屋根(現代鉄板葺)の民家と一部に石垣を伴った棚田が融合した美しい農村景観を創り出しており、写真撮影やスケッチのポイントとして多くの方が訪れています。この地域で栽培される古代米「紫米」は、地域の特産品としても注目されています。



12 あまのむらあまのたなだ 小谷村棚田群

【所 在】北安曇郡小谷村全域
【築 造】不明

小谷村棚田群は、北アルプスの山麓にある中谷壺、坪山、池原、虫屋などの集落に点在する約1900枚・162haに及ぶ美しい棚田の集合体です。豪雪地帯ならではの自然環境の中、石積みや土留りで構成された棚田は、四季折々の風景を彩り、地域住民による保全活動や棚田オーナー制度など都市と農村の交流の場としても注目され、田植えや収穫などの体験を通じて、農業の魅力と地域文化に触れることができます。



木曽エリア

上松町、南木曽町、木曽町、木穂村、王滝村、大森村
お問い合わせ先 木曽地域振興局農地整備課 ☎0264-25-2222

1 くぼはらぶらぶら 久保洞水路橋

【所 在】南木曽町吾妻
【築 造】明治42年(1909年)
【管理者】遠島水利組合

JR中央西線の切り通しに降り立ち再び振り返ると、建設から100年余(明治42年築造)の歳月を経た威風堂々としたその姿を見ることができます。久保洞水路橋は、国内に唯一現存するとされる石造(地元産花崗岩使用)の多連の跨線水路アーチ橋(線路を跨ぐ水路橋)で、長さ約20m、幅2m、高さは10mにおよび、「信濃の橋百選」にも選ばれています。



2 おの たせ 小野の滝

【所 在】上松町萩原
【築 造】不明
【管理者】木曽郡上松町

上松町吉野地区のかんがいで用水の流束に位置する滝で、ここを流した棚田(画)は「老の木曾絵」の中で「木曾路の小野の滝」に描かれています。「老の木曾絵」の中で「木曾路の滝にも、をさをおとらじ、こはしものをこの国歌枕には、いかにもしける」と、手放さず愛しています。また、深草英策・歌川広重の合作である中山道六十九次の浮世絵にも描かれており、木曾八景のひとつとされています。



3 あまの たせ 旭の滝

【所 在】木曽町日義
【築 造】嘉永6年(1853年)
【管理者】宮ノ越水利組合

木曽義村(旭町)ゆかりの南宮神社境内にかつてあった幻の滝である「旭乃滝」が、平成26年9月、氏子で組織する祭礼委員会により160年ぶりに復元されました。この滝は、江戸時代に造られた農業用水路「上堰(うさえき)用水」の一部で、本殿裏山から約20mの落差で、岩間に白い水を上げて流れ落ち、天然の滝のような風情を醸し出しています。



4 けいせいのたせ 菅平温水たけ池(あやめ池)

【所 在】木穂村菅
【築 造】昭和48年(1973年)
【管理者】木穂村木穂村

標高1,000mに造られた農業用ため池で、池の畔はヤマメ園として親しまれており、6月に産卵を迎えます。木穂村の稲作は、用水の低温障害に悩まされていましたが、昭和48年にこの温水たけ池が築造されたことにより、米の生育が良くなり、木穂村の農業は大きく発展しました。現在も貴重な農業用水として40haの水田を潤しています。「森林水産省「全国ため池百選」」に選定されています。



長野エリア

長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村
お問い合わせ先 長野地域振興局農地整備課 ☎026-234-9517

1 せんとうきょうすい 善光寺用水

【所 在】長野市
【築 造】江戸時代(1600年頃)
【管理者】長野県善光寺平地土地改良区

江戸時代初期、松代藩代花井吉成によってその原型が整備されました。権花川から取水する機つもの堰では干ばつが続くと水争いが繰り返されてきましたが、昭和初期に合口取水に変更し、頭首工や用水路などを整備されたことにより、安定取水が可能となりました。上流部は土地改良区や住民らによりアジサイが植栽され、ホタルが舞い地域の特色として親しまれています。



2 さいのくさんせき 犀口三堰

【所 在】長野市
【築 造】江戸時代(1600年頃)
【管理者】上中埴土地改良区・長野県下埴土地改良区

犀口とは犀川が長野県に入り込む地域の名称で、この地から取水し「川中島の戦い」で有名な川中島平の農地を潤す三堰(上堰、中堰、下堰)を総称し「犀口三堰」と呼ばれています。江戸時代初期に花井吉成父子が開削したものとされています。明治4年に上堰と中堰を合口し上中堰となり、昭和32年には東京電力小田切ダム建設に伴い、三堰はダムから取水する形となりました。



3 たいさほしうすい 大座法師池

【所 在】大町市
【築 造】延宝2年(1674年)
【管理者】長野市河原土地改良区

飯綱山の麓にあるこの池には伝説があります。大昔「たいさほし」というとてつもない大男が飯綱山を海に投げようと思い、山に手をかけ顔を真っ赤にして足を踏んばったとたん、足が大地にめり込んで大きな足跡ができました。この足跡に水が溜まり、出来たのが大座法師池です。湖面に映る飯綱山は四季折々の景観を織りなす。観光客を魅了しています。



4 がみんけい 鏡池

【所 在】千曲市
【築 造】昭和49年(1974年)
【管理者】宝光寺池原水利組合

戸隠連峰を源とする冷涼な水を稲作に適した水温に上昇させるため「温水池」池として築造されました。妙高戸隠連山国立公園内にあり、水面鏡に映る戸隠山の姿は四季折々の風情を見せ、自然観察や写真撮影を楽しむ人々が多く訪れます。近年パワースポットとして注目を集める戸隠神社や、CMのロケ地となった奥社参道など近隣の景観を織りなす。戸隠の主要な観光地となっています。



5 やまほり たなだ 八重堀の棚田

【所 在】長野市大岡
【築 造】不明
【管理者】NPO法人元氣お届け隊

八重堀の棚田は、長野市南西部の大岡地区に位置し、日本百名山の鹿島槍ヶ岳や五竜岳をはじめとする北アルプスの山並みが一望できます。棚田は、NPO法人元氣お届け隊と地元酒造会社がパートナーシップ協定を結び、連携した保全活動、魅力発信に取り組んでいます。地元の酒造会社は、棚田で収穫された米を使った酒造りを通じて、地域の農業と文化の継承に貢献しています。



6 おぼすて たなだ 姨捨の棚田

【所 在】千曲市
【築 造】16世紀中頃
【保全団体】姨捨棚田名月会ほか

古くから月見の名所として知られる「田月の月」は、国の名勝に指定され、重要な文化的景観としても認定(文化庁)されています。傾斜地に1,800枚、75haの棚田が広がり、善光寺平の眺望も素晴らしい。日本の原風景を想わせ、見ものにも景観にも価値を与えてくれます。「棚田貸し主制度」により都市住民とも交流が生まれ、棚田の美しい景観が守られています。



7 はしなごたせき 埴科頭首工

【所 在】坂城町
【築 造】寛文10年(1670年)
【管理者】長野県埴科郡土地改良区

埴科の歴史は平安時代まで遡るといわれていますが、歴代藩主として史料に登場するのは江戸時代に入ってからのこと。昔から度重なる災害や領地問題により用水路はわずか1週間完成し、約30haの開田が行われたと伝えられ、小谷の墾開の始まりとされています。水の通る大峯林には堰の開通記念碑などの石造物が並んでおり、徒歩での観光コースもなっています。



8 みつごうすい 六ヶ郷用水

【所 在】坂城町・千曲市
【築 造】戦国時代
【管理者】六ヶ郷用水組合

用水の開削年代は不明ですが、戦国時代には武田信玄の足利、上杉景勝の争いに伴って「六ヶ郷」の記録が残されています。また、近世初頭に花井吉成が改修を行ったとされる伝承もあります。水路の大部分は山原を流下しているため、洪水の際に沢から押し出した土砂で水路が埋まるといった厄な暗渠や沈砂池を設けるなどの工夫が見られます。



9 だんくろうすい 伝九郎用水

【所 在】信濃町
【築 造】寛文10年(1670年)
【管理者】伝九郎用水組合

江戸時代の寛文10年、野尻の里長である油田伝九郎が飯綱山の西北山麓の沢から水を引くことに着手し、新堰の開削とともに伝九郎新田を開いたのが始まります。近代になり電力増強や水道用水確保のため、用水を通過するための電気増強工事や鳥居川からの取水工事が行われました。近隣には野尻湖、伝九郎神社、ナウマンゾウ博物館など見どころも多く、黒船山の眺めも美しい場所です。



10 れいせんじゆ 雲仙寺湖

【所 在】飯綱町
【築 造】昭和47年(1972年)
【管理者】飯綱町

農業用水の水質改善を目的に築造されたため池です。水源とするツブ川には多くの鉄分を含んでおり、鉄分が水田に入ると沈むと固まり、硬い盤を形成するため稲が根を伸ばせず生育障害が発生していました。このため、川の水を貯留し鉄分を沈殿させ、上澄みを農業用水として利用しています。飯綱山の東山麓に位置し、四季を通じてボートや釣りなどレジャーの場として多くの人が訪れています。



11 しみずさんせき 三水三堰

【所 在】飯綱町
【築 造】1600年頃
【管理者】宇三ヶ村、倉井、善光寺各用水組合

旧三水村の名は、倉屋川から取水する3本の用水(宇川堰、倉井堰、善光寺堰)により地域が発展したことに由来します。宇川堰は1600年頃清水戸右衛門により開削が始まり、飯綱山水奉行野田喜左衛門により掘り進められました。倉井堰、善光寺堰は宇川堰より以前に開削されたといわれています。等高線に沿って流れる用水は、米やリンゴの一大産地を支えています。



12 おおたつたせき 大洞大池

【所 在】小川村
【築 造】明治33年(1900年)
【管理者】明治清濁排水組合

明治33年に地域の人人が信用組合を立ち上げて自ら資金繰りを行い、人力によりこの池を築造しました。地域では開削が進み、多くの農家が稲作を始めることができました。標高約1,000mの高地にあり、北アルプス連峰の眺望が素晴らしい。天候観測にも使われており、付近には「星と緑のロマンピア」天文台やプラネタリウム、宿泊施設等も整備され、多くの人が訪れています。



13 けいしおき たなだ 慶師沖の棚田

【所 在】長野市大岡
【築 造】明治～昭和20年

北に北信五岳、西に北アルプスを望むことができ、古来より、雪峰山の豊富な雪水により稲作が営まれてきました。北アルプスの山麓の雪崩で春の農作業が始まると、3月には福寿草の群生、4月下旬には樹齢約200年のアケボノ桜が咲き誇り、訪れる人を驚かせます。1・2階層のフラスコクワなど、訪れる人を楽しませています。



14 けいしおき たなだ 根越下沖の棚田

【所 在】長野市大岡
【築 造】不明

権越様から湧き出る根越沢の清流を使い、化学肥料と化学合成農薬の使用を地域ぐるみで削減して安心で美味しい米を生産しています。北アルプスの山麓に「種まき爺さん」の雪崩が現れると苗代が始まります。周辺のアケボノ桜や群生のフラスコクワなど、訪れる人を楽しませています。



15 けいしおき たなだ 塩本の棚田

【所 在】長野市信新町大字竹房
【築 造】戦国～江戸時代

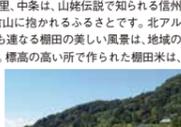
塩本集落は、長野市信新町に位置する棚田からは、犀川の流れにより北アルプスの景色を眺めることができ、四季折々の農村風景が楽しめます。特に春の田植えの時期には、畦の美しい曲線と水面に映る景色が撮影スポットとして親しまれています。



16 とむら たなだ 板倉の棚田

【所 在】長野市中山御山里
【築 造】昭和20年～

北アルプスの眺める里、中条は、山姥伝説で知られる信州百名山のひとつである御山に抱かれるふたさきです。北アルプスを望み、雄姿にもなる棚田の美しい風景は、地域の財産となっています。標高の高い所で作られた棚田米は、とてもおいしいと好評です。



17 おおしほの たなだ 大西の棚田

【所 在】長野市中条下野
【築 造】不明

大西の棚田は、山姥伝説の伝わる虫歯の窟に広がる棚田です。周辺には、茅葺屋根の宿泊施設「やまもち家」や「道の駅中条」があり、人気の郷土食「ぶっごみ」などの特産品が揃っています。「棚田オーナー制度」は、県内外のオーナーの皆さんが訪れ元々の農家のことにより美味しいお米がとれます。高齢化により年々耕作が難しくなっていますが、景観を保全するために頑張っています。



18 たまわきの たなだ 田沢沖の棚田

【所 在】長野市中条御山里
【築 造】不明

田沢沖は、長野市中条に位置し、南に聖山を望み下方には農村集落が広がる日本の原風景が残る棚田です。500m上流の湧き水水源とし、気温の温度差が大きいこと日照時間が長いことにより美味しいお米がとれます。高齢化により年々耕作が難しくなっていますが、景観を保全するために頑張っています。



北信エリア

中野市、飯山市、山ノ内町、木島平町、野沢温泉村、栄村
お問い合わせ先 北信地域振興局農地整備課 ☎0269-23-0212

1 ののみけい 野々海池

【所 在】長野市
【築 造】昭和40年(1965年)
【管理者】野々海水利組合

戦後の昭和24年、130万トンを超える水櫃の築造と水路の開削は、住民自らの施工によるものでした。麓からの8km、標高差800mを人馬により資材を運搬した。山を貫く3ヶ所の水路トンネル(総延長668m)を開削する工事は難航を極めました。これにより新たに90haの開田を果し、開拓事業前に685倍、だった米の生産が、昭和40年におよそ7倍の4,722俵になりました。



2 こたせせき 小滝堰

【所 在】栄村
【築 造】安永7年(1778年)
【管理者】栄村小滝集落

栄村誌に登場するのは227年前の安永7年です。当時、この地域は水不足で米の反収が低く村人が離村する状況となり、小滝の百姓衆を迎え戻すため、庄屋の島田三左衛門が、飯山藩主の許可を得て用水の開削を百姓衆と行いました。この開削は、飯山藩の直轄工事で行った。約10kmの水路を単年度で完成させ、6ヶ所の開田のうち5ヶ所を百姓衆に1ヶ所を庄屋に分けることになりました。



3 おくやませき 奥山堰

【所 在】野沢温泉村豊郷
【築 造】明治22年(1889年)
【管理者】宇ノ平土地改良組合

明治12年、黒川山からの水を平林村(野沢温泉村平林区)まで、21kmの水路を開削して水を引く新堰構想が、開削銀右衛門らによって立ち上げられました。村民の中には、山を掘り抜く180mの隧道工事に危ぶむ者もいましたが、私財を投入し取り組んだ銀右衛門の懸命な努力の末、10年の歳月をかけて完成しました。奥山堰開削の功績を称え、國中平神社には記念碑が建立されています。



4 まことせき すがわかせき 横倉堰と須賀川堰

【所 在】山ノ内町夜間瀬
【築 造】横倉土留 文久3年(1863年) 須賀川堰 明治17年(1884年) 横倉下堰 明治26年(1893年)
【管理者】夜間瀬かんがい排水事業組合

江戸時代末期、目を流れる夜間瀬川に水利権のない夜間瀬村機舎地域は、干ばつに苦しんでいました。坂口稔兵衛(とせい)他11人が、分水堰を越えた雄倉川水系に水源を求め横倉堰を開削し、同じ状況にあった須賀川の村も上堰の一段に須賀川堰(約17km)とともに下段に横倉下堰(約11km)を開削しました。その後、3本の堰は統合され、米やリンゴ、ブドウの一大産地を支えています。



5 みのりけい 沼の池

【所 在】飯山市
【築 造】文化2年(1805年)
【管理者】長野県下内中部土地改良区

元々は火山灰に覆われた窪地に水たまりがたまった天然の池で、江戸時代に飯山藩の新田開発により、農業用ため池となりました。神秘的な景色は、日本画家・東山魁夷の作品「静映」のモデルとして知られ、「希望湖(のぞみこ)」とも呼ばれています。池の周囲は「信越トレイル」のコースとなっており、ミズバショウ群生地・ブナの里木など四季を通じて自然を楽しむことができます。



6 たいらぼつこうせき いしどよ 平八箇郷堰(石樋)

【所 在】飯山市常盤
【築 造】江戸時代(1666年頃)
【管理者】飯山市立常盤小学校(長野県下内中部土地改良区)

飯山藩主松平氏に仕えた役人「用水の神様」と讃えられている野田長左衛門正清の指揮のもとに開削されました。水源を環状の開田山脈中の茶屋池にち、26kmにおよぶ水路はいくつもの集落、川を越え、水沢平の村々(飯山市常盤)に水を運んでいます。川を渡すために造られた当時の石樋を、今に伝えています。



7 ふくしまたなだ 福島棚田

【所 在】飯山市瑞穂
【築 造】文化2年(1805年)
【管理者】長野県下内中部土地改良区

眼下には緩やかに流れる千曲川、遠方には北信五岳を望む絶景の棚田です。江戸時代に飯山藩からの許可状により開削された。映画「阿弥陀堂だより」(2002年公開・小泉孝太郎監督)のロケで使われた阿弥陀堂が残っており、多くの観光客が訪れています。2015年3月に北陸新幹線飯山駅が開業し、都心からのアクセスも便利になりました。



8 うせき えんとうふんすい 上堰の円筒分水

【所 在】木島平村往郷
【築 造】昭和36年(1961年)
【管理者】上堰管理委員会

棚田から取水している上堰を、サイフォンで馬曲川を渡し農業用水を分配しています。従来から上堰の水に権利を持つ高石堰と中村堰とで分水するため、昭和36年に円筒分水工が設置されました。分水率は中村堰58.75%、高石堰41.25%として分配しています。



9 ふくしまたなだ 今井堰

【所 在】中野市上今井
【築 造】室町時代(1600年代)
【管理者】中野市上今井区

鳥居川から取水した堰で、大倉で2分し置戸、上今井等を潤し、荒山地区を最下流とする総延長17kmの堰です。「用水の神様」と讃えられている飯山藩奉行「野田喜左衛門正清」が寛文年間(1660年代)に築造したと伝えられています。上今井諏訪神社では、五穀豊穡のための農業祭の祭事が毎年行われており、この祭事は長野冬季オリンピックの山ノ内会場で世界に披露されたことでも有名です。



10 けいせいのたせき 八ヶ郷用水

【所 在】中野市
【築 造】室町時代(1394～1428年)
【管理者】中野市八ヶ郷土地改良区

志賀高原の大沼池や、群馬県側のガラン源と源とする「祭流堰」の水が、いったん横溝川と角間川に流れ、これらが合流した夜間瀬川に松崎取水工から再び水を取り入れ、そこから6つの堰(豊科堰、吉田堰、一本木堰、若宮堰、竹原堰、中野堰)に分かれ、さらに中野堰の下流で、小田中堰、西条堰に分水されることで8つの堰を潤しています。



11 のまわきの たなだ 野沢沖の棚田

【所 在】野沢温泉村豊郷
【築 造】昭和56～平成4年
【管理者】地縁団休法人 野沢沖、前坂水田管理組合

豊郷地区には約76haの水田地帯が広がり、標高430～530mの斜面に431枚の棚田が整然と並びます。水源は平原生林から湧く清流で、ここで育つ米は「村の御用米」としてブランド化されています。昭和56年から約10年かけて県営農場整備事業で整備し、住民が協力して草刈りや水路の維持を行っています。棚田の一角には縄文時代中期の竪穴式住居跡があり、歴史と農業景観が共存する貴重な場所となっています。



12 けいせいのたせき 野沢沖の棚田

【所 在】野沢温泉村豊郷
【築 造】昭和56～平成4年
【管理者】地縁団休法人 野沢沖、前坂水田管理組合

豊郷地区には約76haの水田地帯が広がり、標高430～530mの斜面に431枚の棚田が整然と並びます。水源は平原生林から湧く清流で、ここで育つ米は「村の御用米」としてブランド化されています。昭和56年から約10年かけて県営農場整備事業で整備し、住民が協力して草刈りや水路の維持を行っています。棚田の一角には縄文時代中期の竪穴式住居跡があり、歴史と農業景観が共存する貴重な場所となっています。



水神と水神祭

大昔の私たちの先祖は、山・川・水・木・石や、雨・雷・雷・太陽・月など自然界のあらゆるものに霊が宿ると信じていました。やがて農業は豊作され神化して水神となり、時代が進むと弁財天など特定の神名でも認められるようになり、また、用水開削に尽力した人々を水神として祀っている例も多々あります。このような水の神に用水の安定供給や豊作などを祈願し、水恵みに感謝する水神祭は、その年の耕作が始まる5月～7月、あるいは耕作が終わった10月～11月に多く行われています。

龍頭(りゅうとう)、鶴首(げしゅ)の2艘の船で明神川に漕ぎ出す安曇野市の「安曇野水祭り」、毎年県外からも人が訪れる村の人達と旧交を温める機会となっている栄村の「野々海大明神祭」、池に御神酒を注ぎ進む飯山市の「茶屋池弁財天祭」、北信地域に賑わいの用水を開削し用水の神様といわれた野田喜左衛門の功績を称える飯山市の「野田祭」など、地域ごとに特色のある水神祭が見られます。

COLUMN